

令和3年9月10日

光 福 保護者様等関係者 各位

社会福祉法人ひふみ会
理事長 吉田 優
光福 施設長 浅井 弘晃

光 福 集団感染による特別緊急体制解除のご報告

この度、光福において令和3年8月5日より猛威をふるった新型コロナウイルスによる集団感染は、8月29日発症として最後の感染の陽性が確認された職員の療養解除をもって、9月8日に終結、9月9日に施設内の特別緊急体制が解除となりました事をご報告申し上げます。

保護者の皆様、関係者の皆様には大変なご心配をおかけしました事を、深くお詫び申し上げますとともに、施設の状況に配慮していただいたの連絡や、状況確認等にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

今回の集団感染は、世の中の災害レベルまで至っている感染者数の増加から、医療逼迫、医療崩壊下での世の中で起こり、どこへも帰る場所もない入所施設の利用者は、感染が発生してもホテル療養や、入院することもできず、24時間職員が感染者の対応をせねばならない状況となりました。そして、光福での集団感染により、隔離された2Fフロア30名の入所者、15名の職員の入所施設のワンフロアが、見えないコロナウイルスと戦う戦場となり、医者や看護師のいない療養所へと変わりました。1人また1人と発熱を起こし、職員の感染、体調不良による現場の離脱、コロナウイルスという見えない敵との闘い、利用者の看病や重症化の不安下で支援をする施設の光景は、筆舌に尽くしがたい状況であったことが想像に難しくないと思います。

そして、続く緊急事態宣言発令下、そんな光福においての感染は、終息まで1カ月を要し、施設の受けたダメージ、職員、利用者達の精神的ダメージは計り知れないものがあります。現在は災害後の復旧のような時期に入りつつありますが、当面は感染予防、防止の体制を強化しながら、復旧しながら運営を続ける体制になります。

残念ながら1名の利用者については、コロナウイルスの療養は終わったものの、後遺症等による治療の為、医療機関への入院が継続されておりますが、職員一同も1日も早い回復を心より祈っております。また、まだ緊急事態宣言発令下であり、今回の原因ともいえる新型コロナウイルスの終息の兆しは見ていません。そんな状況下ではありますが、これからも感染拡大防止等対策を継続しながら、近い将来に必ずある本当に通常の生活を取り戻せる事を願い、皆様には感染の再発、感染拡大防止の為、今後の下記の対応にご理解、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

- ・緊急事態宣言発令の期間、まん延防止等重点措置期間においても感染者数の急増状況が悪化している時期での外出、外泊及び面会を当面禁止させていただきます。
- ・短期入所事業について、自粛している入所施設の外部からの出入を最小限にする為、当面は上記と同様に一時閉所等制限させていただきます。
- ・通所事業については、今回の緊急事態宣言発令期間は閉所とし、今後の緊急事態宣言発令期間についても状況により自粛等制限をかけさせていただく場合がございます。